

愛知四区支部(熱田区支部特集)

服部しんのすけ市議は愛知四区支部長、国土交通大臣政務官、衆議院議員 工藤彰三さんの地盤を受け継ぎ、日夜、党勢拡大に向け努力されています。

熱田区からは自民党県会議員が32年議席を得ておらず、服部しんのすけ市議も32歳の時に県議選に出馬し落選を経験しています。

服部しんのすけ市議はその時の悔しさを知る一人として新人の久喜政美県会候補予定者を全力でバックアップし、国・県・市の自民党的柱を打ち立てるべく日々活動中です。



最新トピックス

神宮駅前地区まちづくり協議会スタート!!

服部しんのすけ市議の質問により熱田区役所南側土地の売却が決定、昨年の11月名古屋市住宅都市局が約90億円で買い戻しました。この土地を、昨年4月に発足した熱田神宮駅前地区まちづくり協議会が路上駐車の低減と神宮商店街の活性化を目的に、今年1月1,2,3日で「熱田区役所南側未利用地活用社会実験」と銘打ち、参拝者用駐車場としての活用が実現されました。3日間の収益は当該地区まちづくりに活用され、熱田神宮界隈に訪れる多くの皆さんに還元されます。この事業に一ボランティアとして、当日は震えるような寒さの中、駐車場内で誘導棒を振り、車の先導係を務めた服部しんのすけ市議。

塩漬けの土地と言われ約30年が経ち、活用のはじめの一歩に立ち会えたこと、安全を確保しながら利用しやすい駐車場を運営する難しさを身をもって知った事等、数多くの学びを得ることができたそうです。

服部しんのすけ市議は「今回の駐車場事業を皮切りに、この土地を有効活用するため、今度は議員の立場として、数々のアイデアを実現させ熱田神宮界隈の賑わいを取り戻す為、これからも走り続ける!」と語りました。



最新トピックス

第1回熱田こども将棋大会開催される!!

本年1月12日、熱田神宮文化殿において第1回熱田こども将棋大会が開催され、199名の小学生が優勝を目指し、白熱した戦いを繰り広げました。

この大会は熱田区に将棋会館を誘致することを目的とした有志の皆様により行われた大会です。服部しんのすけ市議も有志の皆様の熱い想いに心を打たれ、今回主催をして下さった日本将棋連盟東海普及連合会さんとの打ち合わせに何度も参加し、スケジュール調整をするなど裏方役に徹し、大会開催に奔走されました。

当日の会場で運営のお手伝いをしていた服部しんのすけ市議は、想定をはるかに上回る大会の熱気を肌で感じ、東海地方での将棋熱が高まっていることを確認しました。服部しんのすけ市議は今後とも有志の皆様とともに将棋会館誘致に向け、全力を尽くしていくことを決意しました。



服部しんのすけ市議からのメッセージ

まずははじめに、皆様のご支援により市会議員としての仕事をさせていただいたことに、心より感謝申し上げます。この約3年10か月は全力で様々な課題に取り組んでまいりました。しかし、課題を克服していく中で次々に新たな課題も見つかりました。4月に審判を受ける身としては、今後とも全力投球で何事にもぶつかってまいりたいと思います。多くの皆様から頂いたお声を聴きながら、政治とは何をするべきか、自分が政治家としてできることは何か。と自問自答してきた毎日でした。そんな中、心を許せる友との出会いや応援していただく方から心温まる声援をいただいたことが、この約4年間、頑張ってこられた原動力に他なりません。

小・中・高時代はろくに勉強もせず、目標もなく何もできない一人の人間でしたが、二十歳を過ぎてからの様々な人の出会いが、大きく自分を取り戻せたと出会った皆様に心より感謝させていただく日々です。次期、2期目を挑戦するにあたり、熱田区の皆様と共にでしっかりと事業を進めていきたいと思います。この度、開催された熱田子ども将棋大会も将来的には将棋会館誘致という壮大な構想が根本にあり、熱田神宮界隈の賑わい、発展の為にはなくてはならないプロジェクトです。

また、昨年の6月には地元出身の映画監督、日比遊一さんが「名も無い日」という映画の撮影を地元熱田区中心に撮影され、新たなプロジェクトとして名古屋国際映画祭の構想も進みつつあります。いずれにしましても、地元若手有志による活発な活動を支援することが、わたくしのこれから使命と強く感じております。皆様方におかれましては、服部しんのすけの考えにご賛同、ご協力を切にお願いいたします。

最後になりますが、今後、進めて参ります憲法改正などの様々な国の重要課題にも皆さんのお力添えを重ねてお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

名古屋市議員 服部しんのすけ

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



服部しんのすけさん 特集号

進めよう 次の世代のために

プロフィール
生年月日 昭和50年2月19日名古屋生まれ
学歴 仏師の長男として育つ
経歴 名古屋市立名古屋商業高等学校(CA)卒業
産能短期大学卒業
衆議院議員 工藤彰三秘書
自由民主党熱田区第二支部長
自民党愛知県連青年局 幹事長
CA商友会(名古屋商業高校同窓会)副会長
元名古屋市立高蔵小学校PTA 副会長
名古屋市会教育こども委員会 副委員長
名古屋市会公社対策特別委員会 副委員長
初心生涯
妻、長女、長男
映画鑑賞
(最近見た映画: ボヘミアンラプソディー)

重点政策

- スポーツセンターを整備します。
- 保育所整備を進め働くお母さんを助けています。
- 災害に強い町づくりで生命・財産を守ります。
- 歴史と文化を活かした町づくりを推進します。
- 熱田区の魅力を世界に発信します。

服部しんのすけさんは議会にて全ての定例会で質問をされました。 名古屋市会 ただ1人

1 スポーツセンター整備動き出す!!

平成30年11月定例会
熱田区におけるスポーツセンターの整備について



服部しんのすけ市議は過去3回、議会質問において教育委員会に対し、スポーツセンターの整備についての重要性を訴えるとともに16区の中でも著しくスポーツ施設が不足している状況をどのように考えているのか教育長に尋ねました。

また、名古屋市体育館も建設から47年が経ち、体育館の耐震補強は終えたものの現在まで空調の整備がされておらず区民の皆さんのみならず利用者の皆さんに不便を強いてきたところ、服部しんのすけ市議の議会質問により空調の設置が決まり、今では、多くの皆さんに快適に利用できる名古屋市体育館になりました。

服部しんのすけ市議は、今後、熱田区に運動施設として第2競技場、屋内温水プール、トレーニング室、軽運動室などの区民の皆さんに健康維持に欠かせない運動施設を早急に整備していくこと。

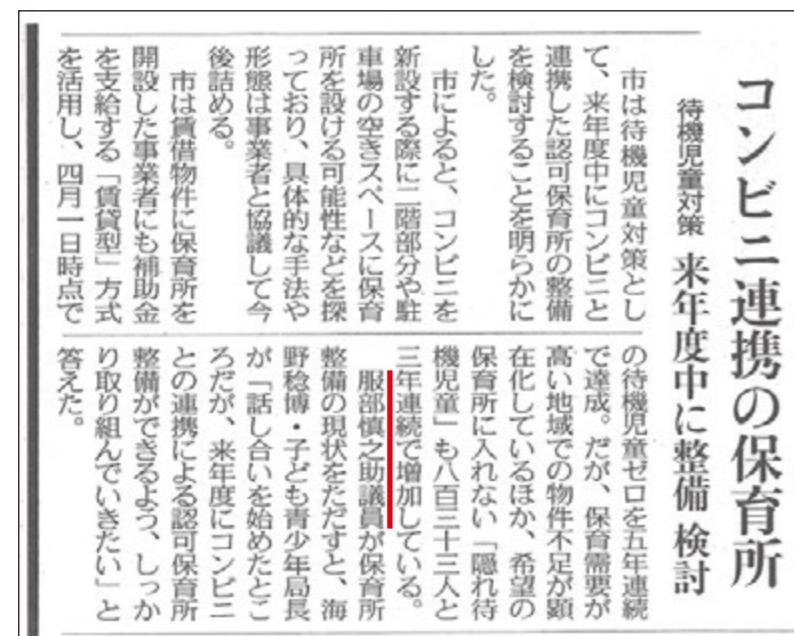
教育長も服部しんのすけ市議の議会質問に対し、「熱田区におけるスポーツセンター機能の確保に向け、できるだけ早期に検討を進めてまいります。」と答弁されました。



更に!!服部しんのすけ市議の質問により平成32年末には市体育館にエレベーターが設置完了予定。

2 コンビニに認可保育所を整備!!

平成30年6月定例会 コンビニとの連携による保育所の設置



平成30年6月27日 中日新聞より抜粋

服部しんのすけ市議は以前から働くお母さん達の助けになれば熱心に保育所整備に取り組まれ、名古屋市庁舎に保育所を設置したらどうか。保育所にキンダーカウンセラーを配置してはどうか。など、子ども、お母さん、そして保育士の皆さんのが為に議会質問をされました。

そして、服部しんのすけ市議は、平成30年6月定例会において、コンビニとの連携による保育所整備について子ども青少年局に強く要望いたしました。

それにより、2020年4月には許認可保育園がコンビニエンスストアの建物やその敷地に整備されることがおおむね決まりました。

服部しんのすけ市議の質問により、来年度、コンビニに許認可保育所が整備されれば、**全国初**の画期的な取り組みとなります。



メーテレ「UP!」にて

3 生命・財産を守る!!

平成30年11月定例会 堀川口における大型災害に対応する強靭な水門の設置について



昭和34年9月、この地域に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風の教訓から、市街地への高潮の浸水を防ぐため、堀川河口に防潮水門が設置されています。しかし、現在のマイターゲート式水門では津波に対応する能力が低く、万が一津波が発生した際には、水門が変形し崩壊する恐れがあることがわかっています。服部しんのすけ市議は、想定される南海トラフ地震が起れば、津波が押し寄せる可能性があり危険になると昨年の11月定例会において、新水門の整備に向けて住宅都市局長に対し、強く要望しました。

それに答弁した住宅都市局長は「早期に事業化が図れるように、本市からも国に積極的に働きかけてまいりたい」と答弁されました。服部しんのすけ市議にお聞きしたところ、1854年に発生した安政東海地震においては宮の渡し付近の神戸町から尾頭橋まで津波が襲った歴史があるとのこと。

なんとしても、南海トラフ地震が起こる前までに新水門を設置して熱田の町はもとより、中心市街地を守り抜きたいと決意を語られました。

3 4 歴史資源の活用と防災拠点整備!!

平成27年11月定例会 高蔵公園の再整備について

現在、県から市に一部移管された高蔵公園は3ヶ年かけて再整備中です。

服部しんのすけ市議は、公園がせっかく再整備できる機会をとらえ地元の皆さんの意見を聞くこととした。防災に対する備えを強化するように緑政土木局長に質問をされました。その結果、災害対策が強く盛り込まれた再整備となりました。服部しんのすけ市議は地元、防災ボランティアの皆様からの要望もあり、通常のベンチを設置せず災害時に吹き出しなどが可能な災害用ベンチに変更するよう緑政土木局に働きかけ、地域の皆様との合意の上、かまどベンチ設置に向かっています。またその整備の過程で、高蔵遺跡の新しい発見があり、昨年の11月23日(金)に高蔵遺跡等60次発掘調査現地説明会が開催された。多くの市民の皆さんに高蔵遺跡のすばらしさを感じていただくことも出来ました。

服部しんのすけ市議は、今後も高蔵公園の歴史的特徴を活かし、更に地域防災力向上を見据えた公園整備をされていかれるそうです。



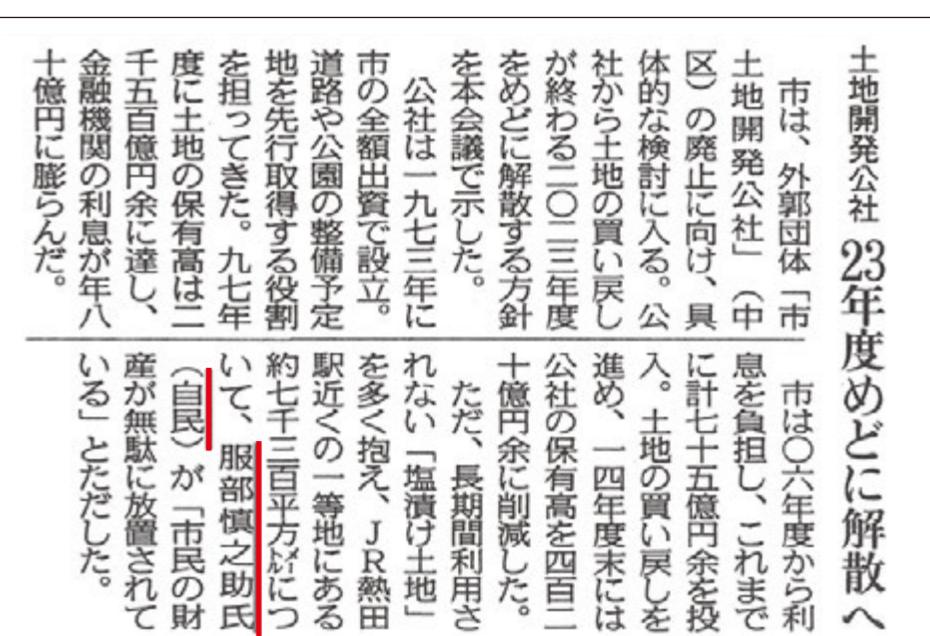
高蔵7号墳の石室(人が葬られた部屋)の壁(今から1400年前のもの)

出土した弥生土器(今から2300年前のもの)

①②③の順で組立(イメージ図)

4 热田区役所南側未利用地動き出す!!

平成29年2月定例会 热田神宮界隈の今後のまちづくりについて



平成27年6月25日 中日新聞より抜粋

熱田地域は熱田神宮の門前町として、1900年以上にわたる大変長い歴史を持ち江戸時代は街道の宿場町、また、湊町として発展を遂げてきました。そして現在では年間700万人を超える方が訪れる市内最大のスポットでもあります。

しかしながら熱田神宮の門前にある「熱田神宮前商店街」は最盛期には多くの店が軒を並べていましたが、今は「シャッター商店街」の様相を呈しており、いかに神宮界隈を盛り上げていくのか。

服部しんのすけ市議は住宅都市局長と観光文化交流局に考えを尋ねました。

その結果、熱田区役所南側未利用地活用方針の検討に関する予算100万円と地域の資源を活かした魅力の発信として500万円の予算が計上され、平成30年4月には神宮駅前地区まちづくり協議会が発足し、今後のまちづくりの進展が期待されます。

服部しんのすけ市議が公約として尽力してきた「塩漬けの土地」が約30年ぶりに動き出しました。

5 名古屋国際会議場の再整備!!

平成30年9月定例会 国際会議場の整備を中心とした事業展開について



平成31年2月3日 中日新聞より抜粋

平成元年開催の世界デザイン博覧展の会場として建設された国際会議場は竣工後30年近く経過し、老朽化が懸念されるところで、服部しんのすけ市議は、平成35年度着手目標の展示面積数2,400m²から10,000m²への増床工事に伴う、その他現状の様々な課題の克服はもとより既存施設の機能向上、防災対策の強化、水辺空間の活用、と様々な視点での質問をされました。その中でも最も重要な課題である、名古屋国際会議場が世界の会議施設との競合に勝ち抜くために必要なグレードの高いホテルの整備について観光文化交流局長に質問したところ、それに対し観光文化交流局長は「国際会議場の敷地内の南広場の南西側、敷地面積約5千m²の場所において、民間事業者からのヒアリングに基づき、100~300室程度の部屋数が妥当であると考えております。」との答弁をされました。

5 名古屋ボストン美術館跡の早期活用!!

平成30年6月定例会 名古屋ボストン美術館閉館後の活用について



メーテレ「UP!」にて

平成30年6月27日 中日新聞より抜粋